

日中友好協会 八王子支部 ニュース



みんなで参加・多彩な活動! 届けよう・大きな“わ”! 佐藤副支部長: FAX:042-645-8415

2023. 5. 7 日中友好協会都連「日本の歴史から考える軍事同盟と戦争放棄」山田朗さん

中国との付き合いに歴史的な知恵を動員しよう

5月7日、東京都連の学習会「日本の歴史から考える軍事同盟と戦争放棄—ウクライナ戦争と日本の大軍拡・台湾有事の危険性」(明治大学 山田朗氏)がありました。抜粋して紹介します。

〔I〕日本近代史における軍事同盟と軍拡の教訓

日本の近代史のなかで、戦時以外で国家予算(一般会計)の40%以上が軍事費に投入された軍備拡張期は3回ある。

① 日清・日露戦間(1896年～1900年)

イギリスへの接近、1902年日英同盟。軍事費の大半はイギリス製戦艦等。戦費の4割は外貨(英・米)で1950年台にやっと返し終えた。

仮想敵: ロシア (イギリスとともに)

② 第1次世界大戦前(1919年～1922年)

日英同盟末期。日本は「八・八艦隊(戦艦8隻、巡洋艦8隻建造)」計画が、ワシントン海軍軍縮会議で米:英:日=5:5:3となり、財政破綻は免れたが、アメリカへの不満が増大した。仮想敵: アメリカ

③ 第2次世界大戦前(1934年～1937年)

ドイツへの接近、日独防共協定、日独伊三国同盟。日本は1936年の軍縮会議脱退以前から海軍力・航空戦力の拡張、大陸への膨張政策。

仮想敵: アメリカ・ソ連 (+イギリス・フランス・中国)

*3 時期ともに軍事大国への接近や軍事同盟が背景にあり、仮想敵国を想定して急激に軍備を拡張。現在と同じ(日米軍事同盟、仮想敵: 中国・北朝鮮)。

戦前軍事同盟・軍拡の教訓

- ① 軍事同盟下の急激な軍拡の結末は、戦争か財政破綻である。
- ② 同盟相手である軍事大国の戦略に利用されるか、振り回される。
- ③ 「脱亜入欧」思想(アジアを対象とした膨張戦略)と軍事同盟路線 → 戦前・戦後は基本的に同じだが、結果が大きく異なるのは、戦後は日本が「戦争放棄」を国是としてきたから。

〔II〕戦後における日本の改憲と護憲の相克 —省略—

〔III〕軍拡から始まる危険なこと

○台湾有事論の危険性

「台湾有事論」は、ほぼアメリカの政府機関・シンクタンクが想定したもので、外交的要素を捨象しているため、日本にとっては貿易額の1/4(中国進出企業



12,000社)を占める中国と戦うという無謀さである。

台湾有事=日本有事は安倍晋三元首相の主張。

○大軍拡の危険性(量的拡大が質的転換を促す)

「スタンド・オフ(射程距離の長いミサイル)防衛能力」は「敵基地攻撃能力」へと転化しうるし、兵器の性能が上がれば危険な新戦略が台頭してくる。

米中対立の最前線で、背中を押されている日本は集团的自衛権のもと、在日米軍基地・日本近海の米軍艦艇への「攻撃」が引き金となり、敵基地攻撃すれば、全面戦争になる。日本はアメリカの盾・先鋒で戦うのではなく、米中を仲介する存在であるべきだ。

おわりに—軍拡・改憲の潮流をいかに押し返すか—

- ① 9条を支えてきた平和主義の土台である戦争の記憶(加害と被害)の継承をすること。
- ② 市民が軍事を監視し、コントロールする力を強めていくために、戦争の歴史、戦争の実態、日本軍拡の実態を多くの市民が知る必要がある
- ③ 隣国との付き合い方に知恵をしぼり、憲法の原点に立った平和外交を展開するとともに、構造的な暴力(格差・差別・貧困)を解消する取り組みによって平和を創造する。

隣国との付き合い方で「中国との付き合い方創出に歴史的な知恵を動員する」と書かれていたので、具体策を質問したところ、

「日本と中国は長年にわたる付き合いがある。中国を専門的に研究する人を増やし、中国を知り、互いに理解を深め、中国とのつながりを持つこと。勝海舟は日清戦争時、中国とはバランスをもって付き合うべきで、戦争はだめと言っている。それが大事だ」と。

日中友好協会の活動そのものではないか。(中道)

731部隊では、前回の「標本室」に書いたように、多くの人体を解剖した時の臓器や、破傷風に冒された人体などが、ホルマリン漬けにされて、展示されていた。それほど、731部隊では、感染実験等いろいろな実験を行っていました。そこで得られたデータを元に、ペスト菌などをどのようにすれば、地上撒布できるかを研究していました。

その研究データは、戦後、細菌戦では遅れを取っていたアメリカに、全部提供され、その見返りに、731部隊等、細菌戦に関わった者たちは、すべて戦犯免責にされました。

敗戦直前、731部隊員であった者や東京の陸軍軍医学校嘱託として731部隊と関与していた医学者も、原爆投下後の広島に他の科学者と共に入り、原爆の威力調査をし、そのデータもアメリカとの敗戦後の取引に使われました。

敗戦後、アメリカとの合同の原爆調査も行い、放射線の人体に与える影響や、遺伝の関係の調査などは今でも継続して行なわれています。

南太平洋で行われた水爆実験から今年で69年目の高知で、5月5日～7日にかけて、ビキニデーin高知2023(高知で行われるのは今回で3回目)が開かれました。

実は、1954年のビキニ環礁で行われた6回にわたる核実験(水爆)では、第5福竜丸だけが、日本のメディアで、大きく報道され、補償されましたが、その他にも、全国で延べ1000隻が被ばくした事実がありました。この被ばくの矮小化に、元731部隊達が大きく関わりました。戦犯免責された731部隊員はアメリカの核戦略には積極的に協力しました。

今、その高知で、国にビキニ事件の損害を求める訴訟が起っています。(詳しくは、ビキニ事件—被ばく船員の救済を求める2つの裁判にご支援を:

<https://readyfor.jp/projects/Bikini1954>をご覧ください。)

その裁判を、闘いながら、高知の船が多く被ばくをした事実を全国に知らせようと、ビキニデーin高知が、行われているのです。

5月5日(金)には、ホテル足摺園で、ビキニ水爆の被災者の体験を

聞いたり、実際に足摺の海のクルージングをして、いろいろ高知いや太平洋の海を体感しました。



足摺園(高知県)

6日には、土佐清水のジョン・万次郎の生家を訪ねたり、宗田節の工場の見学をして、高知の漁村の文化を学びました。その午後には、長年、高知漁船のビキニ被災調査や、津賀ダムの工事に朝鮮からの強制連行があったことを調べ、韓国との交流も図って来ている幡多ゼミナールのOBの方々のお話を聞きました。

その夕方には、高知市に戻って特別交流会があり、幡多ゼミのOBの方や、広島で原爆の被災・被爆を伝える若い方々の報告、又、マーシャル諸島から来られ、熱心に非核運動に取り組んでいる被爆2世のエヴェレンさんのお話をうかがいました。

7日の最終日には、ジャーナリスト、学者、詩人、高知の方々が、核被災の拡がり、核・原発の脅威について、いろいろな発言がありました。

1954年に、ビキニ環礁での水爆実験により、日本の被ばく船は延べ1000隻ありましたが、第5福竜丸だけがクローズアップされ、補償されましたが、その他の船の船員には何もありませんでした。その後、被ばく船員たちは、病に冒され、苦しみ、生活も大変だったことがよくわかります。

そのことに気付き、休日を使って、幡多から室戸まで行き、いろいろと調査をされ、実証されたのが、幡多ゼミナールの方々でした。その精力的な活動が、今の高知のビキニ被災国家賠償請求裁判につながっていると実感します。

高知漁船の核被災だけではない、その他の漁船、マーシャル諸島の人々、アメリカ、ロシア、中国、イギリス、

フランス、インド、パキスタン、北朝鮮、イスラエルの核実験で被災した人々、原発事故(スリーマイル、チョルノービリ、福島第1原発、その他)で被災した人々、ウラン鉱山に関係する被ばく等、核被災している人は、全世界で大変な数に上ると思います。

放射能汚染から、人間を守り、地球の環境をこれからも維持していくには、核兵器や原発のない世界へ、私たちは、進むべきだと強く思います。戦争が起らないような仕組みを作り、核兵器をなくし、原発ではなく、自然のエネルギーを使って、発電する方法が何とか普及できないのかと強く思いました。



5.7 高知県民文化ホール



貂蝉は王允が最近国の事を気に病み、浮かない顔をしているのを見ているが、自分がか弱い女性で心配事を解決してあげることが出来ないで、ここでため息をついていたのである。王允は貂蝉の考えを聞いて、ますます感無量となった。(三国志演義連環図)

(埼玉県熊谷市けやき総合法律事務所)

貂蝉は、王允に董卓と呂布の仲を悪くさせてはどうかとある一計を王允に提案する。王允は貂蝉の策に困惑・驚愕しながらも貂蝉に頼むほかなかった。

王允は、董卓には知患者の李儒が参謀におり、武將としては天下無双の呂布がにらみをきかせているばかりか密偵も無数におり、手出しが出せない状態であると答えた。

董卓は洛陽を捨て、長安に移った。長安は益々栄え、その勢いは天子を凌ぐほどであった。董卓は長安郊外の彫塢ひうに新城を作らせた。ここは王城を凌ぐほどの装飾、金銀財宝が集められ、数十年分の食糧を蓄えられた。後宮に数百人の美女をいれた。

この董卓の権勢には誰も逆らえない状態であり、人々はただただ董卓の顔色をうかがって暮らすだけであった。

孫堅が死亡したことは董卓の耳にも入り、董卓は、反董卓連合の先鋒であった敵將の死亡とあって、大いに喜んだ。

さて、ところ変わって、司徒王允の屋敷。王允は、曹操に宝剣を授け、董卓暗殺を唆した人物である。王允の屋敷には貂蝉という美女がいた。貂蝉は、王允が沈み込んでいるのを見て、王允にその理由を尋ねた。

王允は、董卓が好き勝手に権勢を振るっており、いずれは天子にとって代わるつもりではないかとの懸念をしていることを話した。貂蝉は、どうにかして董卓を懲らしめることはできないのかと訴えた。

けんたの話②

松永健汰さんは、昨年12月に日中友好協会八王子支部に入会しました。本人の承諾を得て日朝協会八王子支部通信から転載させていただきます。

そのジレンマとは、私の身体から出てくる数々の言動を、「私の良心が許さなかった」のです。両親は神道ですが、私はキリスト者です。というのも、中学生の頃、偶然な牧師の方との出会いがあり、それから実に色々なことを教えて貰いました。

中でも、「人はみな平等である」ということが、私を気付かせてくれたのです。人間を民族で差別したり、排斥したり、暴力してはなりません。これを踏まえれば、ヒトラー政権の行ったユダヤ人虐殺は全くおかしいものであると簡単に解る筈でした。しかし私は気付けなかったのです。今でも後悔しています。ただ、こういう人は私だけでは無いように思えます。

今、先進国と言われる日本で、差別が起こっています。現在も朝鮮人を侮蔑する日本人が少なくなく、更には一部の右翼団体などから攻撃される危険に日々さらされています。

また朝鮮学校は未だ一条校として認められず、苦しい学校運営を強いられています。なぜ民族差別が正当化されて良いのですか。私は、私達は、この現実から目を背けてはなりません。黙ることは認めること、黙認することです。声を上げるのです。私のすべきことは今や明白でした。

私達は人間ですが、彼等もまた人間であること。何人も差別されて良い者は無いこと。

皆で手を繋いで共に歩む道が、何よりも素晴らしい未来を望む唯一の道であること。より多くの人に気付いて貰い、より多くの人に平和を望んで貰うために、私はここにいます。

斯くして、私は日朝協会の一員となったのです。



山越拓児さんの
世相を映す替え歌②

「大軍拡・大増税反対のマーチ」

～「三百六十五歩のマーチ」～



♪戦争反対！ 軍拡反対！

♪軍拡は戦争の準備
だから危険が増すんだよ
統合防空ミサイル防衛
狙うは対中包囲網

危ない IAMD
米軍と自衛隊が一体化
あらゆる情報共有し
切れ目のない融合化

腕を組んで 声をあげて
ストップ！ ストップ！
署名を広げよう
ソレ 軍拡反対！ 戦争反対！

♪大軍拡 キンダの狙い
憲法9条投げ捨てて
敵基地攻撃能力保有
専守防衛覆す

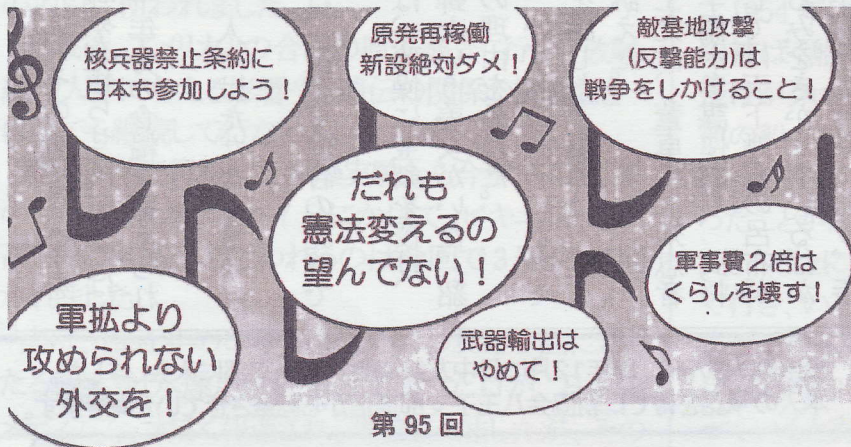
危ない IAMD
アメリカ戦争始めれば
日本の先制攻撃も
報復呼び込み焼け野原

腕を組んで 声をあげて
ストップ！ ストップ！
署名を広げよう
ソレ 軍拡反対！ 戦争反対！

♪大軍拡もたらずものは
暮らしを壊す大増税
削られる社会保障が
教育、福祉に大ナタが

さらには 消費増税
いのちと暮らしが壊される
戦争の道をくいとめよう
みんなで暮らしを守りぬこう

腕を組んで 声をあげて
ストップ！ ストップ！
署名を広げよう
ソレ 軍拡反対！ 増税反対！



第95回

NO WAR! 八王子アクション

2023年6月18日 13:00～ JR八王子駅北口

■鈴木エイト氏講演会 6月18日 14時30分～16時

「このままでいいの？統一教会と政治家の癒着」

クリエイトホール5F ホール 資料代有

《日中友好協会八王子支部日程》

6月25日(日)10:00～ 八王子支部理事会 (アマダステーション)

13:30～ 聊聊天会「こころとカラダの元気を作る中医学入門」

7月23日(日)10:00～ 八王子支部理事会 (アマダステーション)

13:30～ 日朝協会東京都連会長・宮川泰彦氏

「関東大震災朝鮮人・中国人虐殺から100年」

8月27日(日)13:00～ 日中友好協会八王子支部総会

記念講演 日中友好協会・末浪靖司さん「日中米関係の今後」

八王子支部ホームページ

<https://nittyuyukohachioji.web.fc2.com/>

こころとカラダの
元気を作る中医学入門

講師: 笹沼 歌乃さん

国際中医薬膳管理師・国際中医専門員

体を構成する気血水を学び、体質
チェックをして、自分の体質の傾向
を知りましょう。ご自身の体質に合
った食事や養生を紹介します。

とき: 2023.6.25 13:30～

ところ: アミダステーション2階

持ち物: 手鏡

資料代: 500円

問合せ先:

問世田 042-772-7481・

中道 042-664-5980

関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年

講師: 日朝協会・宮川泰彦さん

2023年7月23日 13:30～

アマダステーション2階

資料代: 500円

問合せ先

日中友好協会 中道: 042-664-5980,

日朝協会 島岡: 042-626-8934

日中友好新聞は、東北アジアの平和に役立つ確かな情報と中国の文化・歴史の豊かな情報を持つ、
月2回発行のタブロイド判8Pの新聞です。嫌・反中報道が溢れる中、公正・中立な報道をしています。
ぜひご購入下さい。 1ヶ月550円(送料込み)購読申込 042-645-8411:佐藤